

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・高速道路料金引下げの効果で、土曜日の午後及び日曜日の午前中に来客数が目に見えて多い。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・以前は必要な物しか買わないという雰囲気であったが、最近は衝動買いをしようという様子が多少見受けられる。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・高額品も多少動き始めた。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は回復しているが、特売品の売上増や少量、個食需要が続いて客単価は減少している。また、販売促進の結果、広域からの客数が増える一方で、競争激化で近隣地域での客単価の減少がある。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・買上客数はやや前年を下回っているが、客単価が大きく伸びている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー減税が客に浸透し、販売量は回復傾向にある。しかし、環境対応車の販売依存が大きく、全車種での販売増となっておらず、良くなっているとは言えない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・環境対応車への優遇税制及び新車購入補助金により、低年式車を使用中の客が買換えるケースが多くなった。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・環境対応車への優遇税制及び新車購入補助金の効果は表れつつあるが、軽自動車の場合、前年比を上回るほどではない。しかし、6月は4月、5月に比べ受注台数が130%～140%程度である。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・3月は非常に悪く、4月、5月もそれが続いていたが、6月は販売量が非常に伸びている。ただ、それは一部の環境対応車が売れている影響であり、それ以外の部分が動いていない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3月、4月に比べると、ややましにはなっているが、まだまだ悪い状態が続いている。
	通信会社（企画）	お客様の様子	・3か月前に比べて、少しではあるが加入に前向きになっている。	
	競艇場（職員）	販売量の動き	・ナイター営業の効果が4月のスタート直後に比べてやや薄れてきた。ただ電話投票での売上は伸びているので全体では売上は伸びている。しかし、場内での来客、売上とは別物であり、現場では全く実感が無い。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・会社単位での飲食の機会が減っている。
		商店街（代表者）	競争相手の様子	・消費景気の衰退、人口の減少、高速道路料金引下げ、ネット販売の急増等が地域小売業、特に核店舗や郊外型大型店に大きく影響を及ぼしている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街及び個人商店では、来客数が直接売上に影響がある。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月に比べ来客、売上共に下回った。宝飾品、呉服類及びラグジュアリー商品が苦戦し、ファッション商品も低調に推移した。食品類は全体が低調に推移した中、健闘したが前年を若干下回った。そのため前月同様に総じて低調に推移した。中元商戦は食品を中心に前年並みを確保した。
		スーパー（店長）	単価の動き	・安くても余分な物は買わなくなってきており、その傾向が強くなっている。また、買上点数は伸びても単価が低下するという傾向が続いている。年金支給日においても、以前ほど、年金が出たからといって買わなくなってきている。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・水不足の影響でミネラルウォーターやバケツ等の需要はあったが、客数が変動する要因とはならなかった。
スーパー（財務担当）		販売量の動き	・来客数に大きな変化はないが、客単価は若干前年を下回っている。	
衣料品専門店（経営者）		競争相手の様子	・ボーナス月であるが、盛り上がりはない。同業の大型店が今年で閉鎖するため、夏物の処分売りをしており、その影響が大きい。	

	衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・例年6月は、7月のセール待ちで来店客数が大きく下がる月であるが、今年は半数以上の競合店で6月中旬よりセールの前倒しを行っており、当社も同調しているが大きな起爆剤とはならず、売上は前年比1割近いマイナスで推移している。セールのため利益率も下がっており、ダブルパンチで採算が悪化している。
	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・冷蔵庫と洗濯機の販売台数がやや持ち直してきている。テレビは大型化の傾向が出てきているが、数量的には前年並みまではいっていない。エアコンは低価格タイプの需要が多く、対応する広さの範囲内であれば、現在より1つ小さいタイプでよいという客も多い。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー減税が始まったが、今のところ、それほどの変化はみられない。
	タクシー運転手	販売量の動き	・農繁期も過ぎ、土曜夜市も始まったが、水不足など不安材料もある。
	タクシー運転手	お客様の様子	・客との会話の中で、給料が増えたという答えがほとんどない。20人中、1人が2人が給料が上昇したという答えで、他はほとんど下落である。
	通信会社（支店長）	来客数の動き	・販売プロモーションを行っても、客は冷めた様子である。
	通信会社（管理担当）	販売量の動き	・携帯端末の買換えサイクルが伸びる傾向にあり、来客数も低迷気味である。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・土日の来客数は多いが、平日は前年よりも少ない。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数を見ると、若干増加しているが、客単価が低下しており、良くなっているとは言えない。
	設計事務所（所長）	販売量の動き	・経済対策の効果はまだ表れていない。
	設計事務所（職員）	販売量の動き	・年度末からの財政出動により、受注額及び売上額も当面は維持出来そうである。この傾向は業界共通であるが、小規模・零細企業にとっては、仕事が不足状態であることに変わりはない。
やや悪くなっている	一般小売店〔乾物〕（店員）	来客数の動き	・客が少ない。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・今年は父の日の日が1週間後に移動した影響もあり、6月中旬の売上が前年より増加した。
	コンビニ（総務）	来客数の動き	・ヘビーユーザーの来店頻度が少なくなっている。
	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客数はあまり変わらないが、競合店との価格競争で単価が下っており、止まらない。
	都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・来客数は下げ止まりの感があるが、単価が落ち込んでいる。客は安い商品にしか目を向けてくれない。
	旅行代理店（支店長）	来客数の動き	・夏の個人旅行の申込が、前年の同時期に比べベースが鈍い。新型インフルエンザの影響も幾分落ち着いてきているが、県内で感染者が出た影響も懸念される。
	タクシー運転手	来客数の動き	・相変わらずタクシーに乗る客が少ない。昼も夜もだめで、売上は2割ぐらい低下している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・例年この時期は来客数が多いが、今年はさっぱりだめである。
悪くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・今月は営業店の販売量の動きが悪い。
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・今年度の中元商戦が始まり、法人客へのパンフレット配布、お勤め商品の案内をしているが、前年よりも経費削減が強く打ち出されており、数量、単価共にダウンで、低価格で見栄えの良い物への需要が強い。当然値引き要請も強く、赤字の法人取引は見送るしかないのが現状である。
	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	来客数の動き	・客単価の高い（3,000円）居酒屋は売上が非常に減少している。しかし、客単価が1,000円以下の店は現状維持、もしくはやや減少程度である。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で団体客のキャンセルが出たため、来客数が減っている。国内旅行に積極的に行くという雰囲気ではない。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数、単価共に依然低く抑えられ、売上の低迷が続いている。

企業動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	鉄鋼業（総務・人事統括） 輸送業（社員）	受注量や販売量の動き 取引先の様子	・自動車業界等からの受注に改善の兆しが見え、工場稼働率は多少上向き傾向になってきた。 ・4月以降の製紙業界の取扱数量が7割程度まで回復してきており、他の製造業取引各社も前年下期の出荷数量からは幾分増加傾向となっている。
		通信業（営業担当）	それ以外	・大型スーパーのマネージャーによると、バーゲンをしても衣料品等の売上が伸びない、とのことだが、家電量販店のマネージャーによると、エコポイント制度の効果で対象商品の売上増が見られる、とのことで、こうした良い話題を聞く機会が増えてきた。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の顧問先の決算書、試算表を見ると、平均して回復してきている。3か月前と比べ、売上も若干伸びている。
変わらない		木材木製品製造業（経営者）	取引先の様子	・景気は底を打った感があるが、相変わらず横ばいの状態が続いている。在庫調整が若干進んでいるが、着工数が増えない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・市場価格が値下がりしたため、出荷ベースでは、家庭用紙が大変悪い状況になっている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・相変わらず、受注は出来ても低価格の工事が多い。
		輸送業（支店長）	受注価格や販売価格の動き	・運賃・料金がやや下落傾向である。一部業種の荷主からは運賃見直しや値下げの要請があり、検討せざるを得ない状況である。
		通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・販売量は季節変動要素が大きく、今月は伸び悩んでいるが、即、景気後退とは言えない。ただし、新商品の発売があるものの数量的には伸びていない。総じて購買に慎重な姿勢が見られる。
		金融業（融資担当） 広告代理店（経営者）	取引先の様子 受注価格や販売価格の動き	・取引先の話では、ここ3か月ほどほぼ横ばいである。 ・当社は前年並みの受注量を確保できているが、同業他社は厳しい状況である。また、引き続き利益率が下がっている。
やや悪く なっている		繊維工業（経営者）	競争相手の様子	・取引先の情報によると、当地域のタオルメーカーへの原糸販売量が前年比で減少していること、また、タオル加工業者の加工量が減少していること、など状況は悪化している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・今月に入り、クレーンの稼働状況は更に悪化している。無理な商談は安値競争を招く結果となり、シェアが価格かの難しいかじ取りが求められる厳しい状況にある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・仕事が少ないため、補助金を受けたり、新しいことを提案するなど、今は自分から創っていかなければ仕事はないというのが現状である。
悪く なっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・手持ち工事の減少が続いている。新規引き合い件数は少し増加傾向にあるが、採算に合う案件はほとんどなく、獲得のためには、赤字覚悟で臨まなければならない。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・中途採用、派遣採用、新卒の追加採用、いずれも低調である。求人ニーズが非常に低く、更に悪くなる傾向も見受けられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・カーディーラーからはエコカー減税に向けて多少の出稿があるが、大勢には影響がない程度である。媒体別では、相変わらずチラシ、折込需要が強く、マス媒体を利用する元気はない。業種的にも葬儀社、病院関係以外は元気がない。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数は増加しているが、補正予算で発注された工事により、廃止手続をしていた事業所から申込があるなど、息を吹き返してきているという感じを受ける。	
やや悪く なっている	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・製造業での生産調整は変化がないが、周辺企業での雇用調整が多くなった。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	新規求人数の減少傾向と新規求職者の増加傾向が続いている。
	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・業種にもよるが、賞与の大幅な減額、もしくは支給無しとの声をよく聞く。また、勤め先の先行き不安定感から、在職中で転職を考えている人の登録が増加している。
悪くなっている			